

# 交流センターだより

# おおとし



題名:オシャレがすきな  
ネコ

松本優希さん (坂東)

No.120  
平成31年  
3月号

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 13,749 世帯数 6,610  
開館時間 8時30分~17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) 平成31年2月1日現在

## 平成31年度パソコン講座 参加者募集!

平成31年4月からのパソコン講座の新規受講者を初級、中級それぞれ15名募集します。受講生は年間を通してパソコンの知識や操作を学びます。

初級はパソコン初心者を対象とし、中級の方は、ワード、エクセル、インターネット、メール等が多少できる方を対象にしています。4月から皆さん一緒に学習をスタートしますので、パソコン初心者の方もこの機会に是非ご参加ください!

※参加費は無料です。パソコンをお持ちの方はご持参ください。

申込み:大歳地域交流センター (TEL 083-922-4035)



### 初級講座

内容:基本操作、ワード基礎編、エクセル基礎編  
日時:第1・2・4・5金曜日  
10時~12時  
募集:先着15名  
申込期限:3月1日(金)~  
3月29日(金)まで  
開講式:4月5日(金)

### 中級講座

内容:ワード応用編  
エクセル応用編  
日時:毎週火曜日  
10時~12時  
募集:先着15名  
申込期限:3月1日(金)~  
3月29日(金)まで  
開講式:4月2日(火)



### パソコン相談

内容:パソコンに関する疑問にお答えします。  
日時:第3金曜日  
10時~12時  
※受付は毎回10時~  
10時30分まで



## 薬膳料理教室&早春のテーブルコーディネート教室 参加者募集!

薬膳料理カフェのオーナー岡 静風(おかじょうふう)さんを講師にお招きして、家庭料理でも取り入れることができる薬膳の理論を教えてください、毎日の料理に薬膳のヒントを加えてみませんか?また、フラワーアーティスト&空間演出家でもある岡さんにテーブルコーディネートの技を教えてください、お家のダイニングをアレンジの参考にしてみませんか?いつもの食事に薬膳と空間演出を取り入れてもっと楽しく美味しくしてみましよう!

日時:3月10日(日)13時30分~16時00分

場所:大歳地域交流センター

内容:薬膳スパイスカレー鍋  
早春のテーブルコーディネート

参加費:500円

持参物:エプロン

定員:先着15名 ※3月1日から受付

申込:大歳地域交流センター

(TEL 083-922-4035)



講師:岡 静風  
(おか じょうふう)

# 母推さんの子育て応援講座

# 榎野川・吉敷川の可動堰点検のお知らせ

## ～おはなし会 参加者募集！～

たまには親子でゆっくりと楽しく優しい声で、絵本やお話を聞いてみませんか？

日時：3月13日（水）10時～12時  
（受付9時30分～）

場所：大歳地域交流センター  
2階 和室

内容：講師によるおはなし会

講師：長谷川 雅美さん

対象：乳幼児とその保護者 先着20組

申込：大歳地域交流センター

（TEL 083-922-4035）

※3月1日から受付



榎野川・吉敷川内に設置された各可動堰の作動状況を点検します。点検前後は増水等が起き、大変危険ですので河川内に立ち入らないでください。

■河川内立ち入り禁止日

3月19日（火）予備日3月20日（水）

【榎野川】 【点検（転倒）開始時間】

林洗堰（小郡下郷柳井田）【12時・15時】

福良堰（下矢原）【12時】

矢原堰（三和町）【12時30分】

高井堰（上平井）【13時】

今井出堰（宮野上）【13時】

一の井出堰（宮野上）【13時】

【吉敷川】

千代丸堰（朝田）【12時】

湯田堰（矢原）【12時30分】



# 第26期 山口シティカレッジ受講生募集！

「山口シティカレッジ」で、政治・経済・文化等の幅広い分野の課題や地域課題を学び、地域社会やグループで活躍しませんか？

日時：平成31年4月～平成32年3月までの毎月第2木曜日 10時～12時

場所：山口市男女共同参画センター（ゆめぼぼら）第1講座室

対象・定員：市民 先着50名（ただし初受講者を優先）

受講料：年間3,000円（開講時にご持参ください。視察研修は、別途一部負担）

申込み方法：ハガキ、FAX、Eメールのいずれかの方法で申込み

住所・氏名（ふりがな）・電話番号・年齢・性別・受講歴（あり・なし）を明記のこと

申込み：山口市教育委員会社会教育課

（〒753-0074 山口市中央5丁目14-22 TEL 083-934-2865

FAX 083-934-2702 Eメール s-kyoiku@city.yamaguchi.lg.jp）

締め切り：平成31年3月8日（金）当日消印有効

講座内容：



月 日	講座内容	講師等
4月11日	開講式／国際交流 山口とスペインの深いつながり	エフライン・ビジャモール・エレロ （山口大学名誉教授）
5月9日	町内会・自治会再考	小谷 典子（山口大学名誉教授）
6月13日	一票の格差 ～だれの意見をまず聴くか～	井竿 富雄 （山口県立大学国際文化学部教授）
7月11日	くらしの中の男女の受け止め方	田中 マキ子（山口県立大学副学長）
8月8日	日本経済の現状と課題 ～キャッシュレス時代の到来～	仲間 瑞樹 （山口大学経済学部教授）
9月12日	いつまでもサビない身体を目指して すこやかにしなやかにハッピーウォーキング	馬田 義子 （ウォーキングインストラクター メディカルヨガトレーナー）
10月10日	【公開講座】 白河踊りは、なぜ長州で伝承されたか	中原 正男 （楫取素彦顕彰会会長）
11月14日	【視察研修】 柳井方面	－
12月12日	憲法と皇室典範～皇位継承をめぐる 皇室の現状と課題～	香川 智弘 （山口学芸大学教育学部長）
2020年 1月9日	山口市の観光資源について	山口市観光交流課職員
2月13日	新聞業界の現状と課題	岸本 邦彦（時事通信社山口支局 支局長）
3月12日	閉講式／学びを活かすために	山口シティカレッジ 運営委員

# 大歳地域交流センター図書入荷のお知らせ

大歳地域交流センター図書室に新しく図書を入荷しました。ぜひ借りに来てください！  
6冊まで借りることができます。貸出期間は2週間です。期限内に必ず返却して下さい。



タイトル (大人向け図書)	著者	タイトル (子ども向け図書)
決定版 AI 人工知能	樋口晋也ほか	おとなになってもこまらないマナーとしぐさ
掟上今日子の乗車券	西尾維新	おとなになってもこまらない整理整頓術
ウォーターゲーム	吉田修一	ぜったいあけちゃダメッ！
引き抜き屋①鹿子小穂の冒険	雫井脩介	うがいのうがい
引き抜き屋②鹿子小穂の帰還	雫井脩介	みずとはなんじゃ？
思い出が消えないうちに	川口俊和	くろいの
銀河食堂の夜	さだまさし	クマと森のピアノ
極夜行	角幡唯介	みえるとかみえないとか
新世界	西野亮廣	ぼくのぼしょなのに
本と鍵の季節	米澤穂信	だるまさんの
あふれでたのはやさしさだった	寮美千子	だるまさんと
ラストレター	岩井俊二	グレッグのダメ日記さすがに、へとへとだよ
星をつなぐ手	村山早紀	グレッグのダメ日記いちかばちか、やるしかなく
ナナメの夕暮れ	若林正恭	ぼくらの七日間戦争
いつかすべてが君の力になる	梶裕貴	まんが世界ふしぎ物語①ピラミッドのひみつ
ルポ西成 七十八日間ドヤ街生活	國友公司	まんが世界ふしぎ物語②ミイラと墓どろぼう
炎上弁護士	唐澤貴洋	おしえてハローキティ 英語つき
「違うこと」をしないこと	吉本ばなな	はじめてのこどもずかん (からだのなまえ)
ホモ・デウス 上	ユヴァル・ノア・ハラリ	おしえてハローキティ 英語つき
ホモ・デウス 下	ユヴァル・ノア・ハラリ	はじめてのこどもずかん (のりものなど)

## 【大歳地区3月の行事予定】

2日(土) 親子で作るラーメン講座(9:00~13:00)	15日(金) ブックスタート体験会(10:00~16:00)
3日(日) センター定期利用団体清掃と会議(8:30~)	16日(土) 大人の居場所(13:30~15:00)
4日(月) 燃やせないごみの日	20日(水) びん・缶の日
8日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)	22日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)
10日(日) 学校開放団体体育館清掃(8:30~10:00)	22日(金) 子育てサークル太陽クラブ(10:00~13:00)
10日(日) 薬膳料理教室(13:30~16:30)	25日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
11日(月) 金属・小型家電製品の日	28日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
13日(水) 母推さんの子育て応援講座(9:30~12:00)	※木曜日はプラ容器包装分別収集
15日(金) パソコン相談(10:00~12:00)	21日(木・祝)を除く



## 大歳の庚申 2

中国の宗教・道教に三尸説さんしというものがあります。この説とは、人間の体には三尸の虫（上尸・中尸・下尸）がいて、これが常に人間の行動を監視していて、庚申の日註1の夜になると、寝ている間に体から抜け出し、その人の罪を道教における最高の神の天帝に告げ口をするというものです。天帝はそれによって、その人の健康や寿命を決定するというものです。罪に身に覚えのあるものは、この三尸の動きを封じるため、庚申の日は一晩中寝ないで、三尸が抜け出さないよう過ごすというものです。一人では心許ないので、大勢集まって一夜を過ごす事もあるそうです。

この庚申信仰は中国から奈良時代ごろに日本に伝わったと言われ、続日本後記しよくにほんこうきに、平安時代の承和元（834）年に宮中などで、庚申の日に蹴鞠や歌会などの御遊ぎょゆうが行われたと書かれています。そして、鎌倉時代にはこの風習は武士の間にも広がりを見せ、室町時代になると僧侶による庚申講ごんぎょうの勤行や功德を説いた庚申縁起がつくられて仏教と結びつき、また庚申塔など信仰の対象物註2が建てられます。そして、次第に道教の三尸説は、仏教だけでなく、神道など、さまざまな信仰や習慣が入りまじり、特異な信仰として庶民の間に広がります。仏教では青面金剛しょうめんこんごうを祀りました。青面金剛は、もともと病気を流行させる鬼神でしたが、病気を退治する信仰の本尊となり、江戸時代には庚申信仰の主流となります。また、江戸時代にはいつて、石塔に猿田彦、また青面金剛に猿が彫られるなど、庚申が猿田彦に習合註3され、道祖神さえのかみ註4とも接近し、混雑した民間信仰に成長したといわれます。こうして、庚申信仰は歴史の中で、しだいに青面金剛、猿田彦神、道祖神などを拝む信仰へと変化し、生きていくために禍から逃れ、現世での利益を得ようとする信仰に変わっていったといわれます。次回に続く。

（註1）庚申（かのえさる）は、干支（えと）の十干と十二支の60通りの組み合わせの一つであり、年や日をこの干支で表すと、その組み合わせの一つは、日は60日に、年は60年に1回巡ってきます。

（註2）鎌倉時代の歴史書の「吾妻鏡」に源実朝が建保元（1213）年に庚申の行事をおこなったとあり、また「日本石仏図典」（日本石仏協会）には、日本の庚申塔のもっとも古いものは室町時代の長享2（1471）年のものとあります。

（註3）日本神話の猿田彦は道の神、旅人の神といわれ、「猿」の字が「庚申」の「申」に通じていることから習合されたという説があります。



和田道祖峠の「道祖神」



山口スバル西南地の「猿田彦」

（註4）道の辻や村の境域に置かれ、外部から侵入する邪霊、悪鬼、疫神から村を守る神。境の神さかいや塞の神さい。前回の「大歳の庚申1」の道祖神のふりがなを「さいのかみ」としましたが、「さえのかみ」と同じです。（参考文献）

「日本石仏図典」（日本石仏協会著）、「民間信仰事典」（桜井徳太郎著）、「ふるさと山口 第19号」

（大歳史談会 文責：白上茂樹）